

つて、道路の舗装や側溝の設置が進んだことで、農業用水路の流れが変わり、降水量が多い時に水



この地点は住宅街だが、ふたをかけたり、暗きよ化した農業用水路が流れている。宅地化に伴

策が講じられ【写真】、市民に喜ばれている。

山形市

公明市議が現地調査し冠水対策

があふれる事態が多発。とりわけ地元スーパーのヤマザワ松見町店で

は、店舗内に雨水が流入することもあり、地域の課題となっていた。

こうした実情を知った

公明党の松田孝男市議は、周囲の路面の傾斜や水路の位置、状態を詳細に調査し、市河川道路整備課や農村整備課に対策を講じた。これらは、地元スーパーのヤマザワ松見町店で、店舗内に雨水が流入することもあり、地域の課題となっていた。

若松氏ら山形・蔵王を調査

公明党の若松かねしげ参院議員（参院選予定候補）は28日、山形市蔵王温泉の地蔵山でアオモリトドマツの害虫被害の状況を調査した。真山祐一前衆院議員、菊池文昭県議、山形市議が同行した。

蔵王に自生するアオモリトドマツは冬期間、「樹氷」が形成される重要な観光資源だが、地蔵山の山頂周辺はほとんどが枯死し、被害は釐へと広がっている。

若松氏らは、山形森林管理署の西川晃由署長から



## 樹氷の森に害虫被害

若松氏ら山形・蔵王を調査

「5年前、ガの一種・トウヒツヅリヒメハマキの食害で弱った樹木に、トドマツノキクイムシが入り、内部

トドマツの害虫被害の状況を調べた。真山祐一前衆院議員、菊池文昭県議、山形市議が同行した。

蔵王に自生するアオモリトドマツは冬期間、「樹氷」が形成される重要な観光資源だが、地蔵山の山頂周辺はほとんどが枯死し、被害は釐へと広がっている。

若松氏らは、山形森林管理署の西川晃由署長から説明を受ける若松氏（右から2人目）、菊池

を要望。この結果、使われていない水路が側溝に流入していることが原因と判明し、冠水をもたらす水路がコンクリートで埋められた。

因」と説明を受けた。さ

に西川署長は、枯死したトドマツでも樹氷が付くことと発芽などトドマツ林の回復に努めている」と話した。

若松氏は「必要に応じて国も支援できるよう取り組みたい」と語った。